

## 福祉について



村木 英幸

Q

社会福祉法人が運営していた市内の高齢者通所介護事業所が、平成27年3月に一か所が廃止となり、29年9月に一か所が休止した。廃止と休止の届出の理由については、「利用者・人員不足」「稼働率が低迷した状況が続いたこと」となっているが、どちらも社会福祉法人として歴史も長い法人である。高齢者福祉を取り巻く状況からすれば、考えられないことである。原因はどこにあるのか。保険者として被保険者への保険サービスの周知不足も一因ではないのか。市の見解は。

A

通所介護事業所の利用者の減少などで、事業を廃止してしまう原因としては、市内に事業所が比較的多く、一人の利用者が同じ事業所に通所する期間が短い傾向にあるため、利用者数が安定しないことがあると捉えている。市では、介護保険のサービスを周知するため、市職員が介護認定申請受付の際に、本人・家族に冊子を渡して説明をしている。また、市のホームページに市内事業所の一覧を掲載しているほか、介護教室や介護の日のイベント等を開催しているところであり、今後とも引き続き、介護保険のサービスの周知に努めていく。他に教育について質問した。

武蔵引田駅北口土地区画  
整理事業について

中村 のりひと

Q

事業完了後の想定で、人口規模1000人、世帯数420世帯となる積算根拠は、事業完了後は何年を想定しているのか。

Q

市長は、地権者の方と膝を付き合わせての対話を実施してきたか。

A

本事業に不安や疑問を持つ方々を対象に、意見交換会を実施しているが、今後は、市長自ら出席する。

A

区画整理計画標準に準ずることを基本に、住宅地では1ha当たり100人から150人、商業地では1ha当たり200人を想定し、それぞれの面積に応じて算出。公用地は、計画人口を見込んでいない。また、世帯数は、市内の1世帯当たりの平均人数約2.4人をもとに算出。これらの想定は、地区の土地利用が充足した場合の見込み。居住人口は民間の需要に左右される要素が非常に多く、行政が将来の土地利用を正確にコントロールすることは困難であるため、何年後に充足するか答えるのは難しい。

